

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、命の重さをあらためて実感しました。今までニュースや報道で事故が起き人が亡くなってしまおうという場面を見たことがあって、心の中ではかわいそうだな、残念にな、と思いつつもどこかで他人事のように思っていました。しかし、お話を聞いて命というのはほんのちょっとしたでなくなってしまうものでも家族だけでなく、友達など様々な方がかかわることも重大な事だと気づきました。自分の身の周りでも起こり得る事であり本当におそろしいなと思いました。事故は自分だけ気を付けていても起きてしまう相手も事故を起こしてはいけない！と思っていないと防ぐことができないことであり、いつか自分が被害を受ける側だけでなく起こしてしまう側にならないように今のうちから交通ルールをしっかり守り他の人も助けられるようになりたいです。今回習ったことを決して忘れずに、生活をしていき、次につないでいくことを頑張っていきます。

学校名

湯沢市立稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

浅野 史龍

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は雄宇也くんのお母さんのお話を聞いて、一番心に残ったことは、事故をおこしてしまった人は、いままでどおりの生活をする事ができるかもしれないけど、事故にあつた人や、その家族などはもうもとの生活にはもどけないし、どんなに悲しくても、その人はもどってこないということです。このことを聞いて、事故はいつおきるかわからないし、おきないように気を付けていても、おきてしまうときもあるので、家族や友達などの身近な人に感謝し、事故がおきないように気を付けています。また、車だけでなく、自転車に乗るときもし、かり責任をもって乗りたいと思いました。これから、いつ事故がおきてもおかしくないし、もしおこつたら、一生会えなくなつてしまつたり、もうもとの生活にはもどけなくなつてしまうので、そのことをみんなが思いだして、おこしても交通事故がへつたらいいと思うし、悲しい思いをする人もへつと思うので、運転するときも歩くときもみんなが気を付けてながら生活したいです。今日はお話ありがとうございました。これからもこの活動で少しでも交通事故をへらせるようにがんばつてください。

学校名

湯沢市立 楢川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

藤原 莉愛 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は今回「命の大切さ学習教室」に参加させていただいて、「命」というものは、すごく大切な存在ということを確認できたし、自分だけでなく、友達や身近な人達のことを傷つけてしまわないように、行動や言葉づかいをもう一度見直してみたいなと感じました。熊谷雄宇也くんのお母さんは、いままで大切に育てた自分の子どもがいなくなってしまうとき、きっと教えきれないぐらいのたくさんの感情があたしと思う。自分の子どもがいなくなってしまうときの悲しみは一生忘れられない深い傷なのだと思います。それなのに、このように自分達のために自分のつらさや苦しさを伝えて来てくれた雄宇也くんのお母さんはすごいと思いました。私はこの命の大切さ学習教室を通い、自分の大切な家族といられる時間がふつうのことではないし、これがあたり前じゃないことをあらためて実感しました。そして、これからは「今」というかけがえのない時間や人との関わりを本当に大切に、あたり前に続いてきた今日を大切に生活していきたいなと感じました。これからは交通事故だけでなく、たくさんの事件、事故が毎日のおよびがあると思います。それが少しづついいからなくな、いいはいいと思います。そして、本当にいつもどおり家族、友達の人たちと生活できることがあたり前じゃなく、とても幸せなんだということ大切に生活していきたいです。

学校名

湯沢市立

稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 綾菜 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今回、このお話を聞いて、改めて明日が来ることは当たり前じゃないと考えることができました。私は、生きていの中で、色々な選択をして生きています。自分がどういう行動をするか、自分はどう生きていかなど、人生に関わることを毎日決めることができます。でも、それがいつまでも続く訳じゃなく、いつかは終わってしまうことを改めて感じました。だからこそ、後悔のないように、人を思いやった(考えた)行動や、自分の言動に対する責任をきちんと取るなど、当たり前だけどもものすごく大切なことを続けていけたらいいな、と思いました。

このお話から、「命」というものに対しての思いが『当たり前』から『特別』に変わったな、と思います。雄宇也くんのお母さんのように、辛い思いをする人がこれ以上増えないように、自分にできることをや、て、事故や人を傷つけることをしない・させないように普段から気を付けていきたいな、と思いました。

今回は、お話を聞かせて下さりありがとうございます。この経験を無駄にしないように自分の心に留めて生きていきたいです。

学校名

稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

後藤 瑞葵 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日の講演を聞き、とても悲しい気持ちになりました。自分が周りを確認して、手をあげて道路をわたしても、車の運転手が気をつけないと意味がないことが分かりました。裁判が終わった後、加害者の方が笑っていたというのを聞いてとても心が痛みました。どうして未来ある子どもの命がうばわれなければならないのか、話を聞いていてとても悲しかったです。

今元気に生きて、過ごしている日常はあたりまえではないことが分かりました。友達や家族と過ごせる今を1日1日大切に生きていきたいと思えます。そして、自分の命だけでなく色々な人の命も守れるようにしていきたいです。

大人になって車を運転できるようになった時交通ルールを守って運転したいです。事故のない時代がいつか来ることを願います。

子どもとして辛いと思いますが、これから身体に気をつけて生きてください。

学校名

箱川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

藤原 姫季 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日熊谷さんの講話を聞いて、テレビなどで報道される交通事故には、ご遺族の方の悲しさなどは報道されることが少ないので、今日のお話で交通事故がより身近に感じました。

熊谷さんのお話で、心に残っているのは、「自分の命も他人の命も大切に」という言葉です。自分の命を大切にすることは分かっていたつもりだけど、他人の命を大切にすることの大事さに気づいたし、自分の命を大切にすることに才しても理解が深まりました。そのようなご遺族の方々からのお話は、自分たちはもともとたくさん聞くべきだと思いました。それによって、命の大切さについて考えることのできるいい機会になると思えます。自分にはこの先、また未来はあると思うけど、中には悲惨な事故でなくなられた方、そのご家族の方々がいられしやるということを忘れずに生活していきたいです。熊谷さん、本日はありがとうございました。

学校名

稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

東海林 大地 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日は、「命の大切さ学習教室」を聞いて、改めて交通事故の怖さを感じました。私は普段、身近で交通事故を見る機会はいらないので、交通事故のイメージはしっかりと、わからないけれど、この同じ秋田県でこのような交通事故が起きていて、とてもびっくりしました。また、小学1年生で亡くなっていて、もし、自分の家族や大切な人が亡くなってしまったら、とても悲しいと思います。交通事故は、互いに気をつけていても起きてしまう事故だと、思うので、少しでも交通事故を減らすことかいてるように、普段から起る事故と自分ごととして考えて生活したいです。私は、夏は自転車通学をしているので、車に気をつけるだけでなく、自転車の運転手としても、歩行者に気をつけたり、交通ルールをしっかりと守って、安全に自転車を運転することかいてるようにしたいです。今日は、このような話をしてくださり、ありがとうございます。この、「命の大切さ学習教室」で、たくさんのお話を学びました。このように、この活動は、少しでも交通事故が減り、気持ちの変化などもある、良い活動だと思つので、これからも続けてもらいたいです。

学校名

稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

伊藤 杏 より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は今回のお話を聞いて、一番印象に残ったことは、事故や事件は誰でも遭ってしまう可能性があるということです。朝に笑顔で学校に行ったのに帰ってくる事ができなかった雄宇也くんのように、当たり前前の日常の中で事故に遭うことがあると聞いて、他人事ではないんだなと不安になりました。また、自分が自転車に乗っているときに事故を起こしてしまつたらと考えると、相手だけではなく、その相手の家族や友達にも、一生の苦しみを与えてしまうと知りました。これからの生活の中では、交通ルールなどのきまりを守るだけではなく、周りにいる人を行動や発言によって傷つけてしまわないように、自分の言動に責任をもっていこうと思いました。貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

学校名

稲川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

阿部永和

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



この前は貴重なお話を聞かせてくれてありがとうございました。雄宇也くんのお母さんとしてこのお話は口に出すのがとても辛いような経験だったと思います。けれど、口に出すのが辛い中でも私たちの前に立ってお話してくれたことで私は命の大切を改めて理解することができました。また、もしも自分の家族も雄宇也くんのように突然の事故や事件が起きてしまったときの事を考えると今自分に毎日見送ってくれたり、ご飯を作ってくれたりしている家族の姿の大切さにも今回のお話を通して気づくことができました。雄宇也くんのお母さんはお話をしている際に「加害者への罰も考えなければいけない」と言ってくださいましたが私は同じように思います。雄宇也くんは車にはねられてしまったという事実がある以上もっとこれから考えていかなければいけないのは加害者への罰は重んじるべきだと私は考えたからです。そして、これ以上雄宇也くんのような子供を増やさないためにもだと思います。そして、最後に雄宇也くんのお母さんがまたお話をしている中で「この活動を続けるか迷うときもある」と言われましたが、私は是非続けていってほしいと思います。このお話は絶対に人の命を、2つ…と助けることができるお話です。私はそう信じています。これから活動を頑張ってください。

学校名

箱川中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

後藤 真由

より